

1 単元 県の広がり

2 目標

- 自分たちの住む県の地理的位置，地形や主な都市，交通網や産業の様子などに関心をもって調べ，その特色を考えようとしている。  
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 自分たちの住む県の特色について，様々な視点から調べて分かったことを相互に関連付けながら考え表現することができる。  
(社会的な思考・判断・表現)
- 自分たちの住む県の様子について，各種具体的資料を活用して読み取った情報を基に記述し，集めた資料を目的に応じてパンフレットにまとめることができる。  
(資料活用の技能)
- 自分たちの住む県の地理的位置，地形や主な都市，交通網や産業の様子などを知り県の特色を理解できる。  
(社会的事象についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材について

本単元は，自分たちの住む県の地理的位置，県全体の地形や主な産業の概要，交通網の広がりや主な都市の位置などに興味・関心をもたせながら捉えさせ，自分たちの住む県の特色を考えることができるようにすることをねらとしている。ここでは，自分たちの住む県についての学習であることから，児童一人一人に身近な問題として取り組ませる必要がある。そのためには，地図や絵図，写真やグラフなど各種具体的資料や地図帳を活用し，白地図にまとめる活動などを多く取り入れることが効果的である。単元計画の中に児童の主体的な取組を促しながら県の特色を捉えることができる学習活動を設定することで，自分たちの住む県に対する誇りや愛情をもち，地域社会の一員としての自覚を育てることができると考える。

(2) 児童の実態について（平成28年10月7日実施）

本学級において，資料活用の技能の実態を捉えるための調査を行ったところ，次のような実態が見られた。

○ 読み取る力	・等高線で表された単純な地形の断面図を正しく選ぶことができた児童	27人
○ 捉える力	・主題図に表されている交通網の全体的な傾向を捉えることができた児童	2人
○ 集める力	・「水はどこから」の学習のまとめとして作成した新聞から，必要な資料を集めることができた児童	8人
○ まとめる力	・「水はどこから」の学習のまとめとして作成した新聞から，集めた資料を目的に応じてまとめることができた児童	4人

この結果から，これまでの学習において地図や各種の具体的資料を活用する学習を行ってきたが，資料に表されている事柄の全体的な傾向を捉えることや問題を解決するために必要な資料を集めてまとめることが十分にできておらず，資料活用の技能を習得させることが不十分であったことが分かった。この実態を改善するためには，明確な目的意識をもちながら，資料から読み取れる社会的事象の様子を記述する活動を繰り返し，必要な資料を集めてまとめる活動につなげる学習活動が必要であると考えられる。

(3) 指導について

研究主題に迫るために，本単元では，社会的事象と習得すべき技能の関連性を踏まえた単元計画を工夫し，各種の具体的資料から読み取った情報を基に社会的事象の様子を記述する活動や，集めた資料を目的に応じてパンフレットにまとめる活動を取り入れることで，資料活用の技能を習得させるようにする。まず，導入では，児童の目的意識を高めることができるような学習問題を設定する。次に，資料から読み取った情報を基に社会的事象の様子を記述する活動や必要な資料を集める活動を通して，資料活用の技能が習得できるようにする。最後に，集めた資料を目的に応じてパンフレットにまとめることができるようにする。このような学習活動を通して資料活用の技能を習得させたいと考える。

4 単元の指導

(1) 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住む県の地理的位置，地形や主な都市，交通網や産業の様子などに関心をもち，意欲的に調べている。</li> <li>・自分たちの住む県の様子から，その特色を考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住む県の地理的位置，地形や主な都市，交通網や産業の様子などについて，学習問題や予想，学習計画を考え表現している。</li> <li>・自分たちの住む県と他県との位置関係を考えたり，県の様子について分かったことを相互に関連付けながら県の特色を考え，適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や資料，インターネットなどを活用して必要な情報を集め，自分たちの住む県の地理的位置，地形や主な都市，交通網や産業の様子を読み取り，記述している。</li> <li>・集めた資料を，目的に応じてパンフレットにまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住んでいる県の地理的位置，地形や主な都市，交通網や産業の様子などを理解している。</li> <li>・自分たちの県の特色について理解している。</li> </ul>

(2) 単元計画 (8時間扱い)

段階	時	学習活動・内容	指導上の留意点 (◎評価)	
つかむ	1	<p>1 本時の学習問題を確認する。</p> <p>「魅力度47都道府県ランキング」で、茨城県は4年連続最下位である！…だけど、本当に魅力が無いのかな？</p> <p>2 茨城県の魅力について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「水戸市？つくば市？…そもそも茨城県ってどこ？」</li> <li>・「…茨城県に大きな市町村ってあるの？」</li> <li>・「交通の便が悪すぎる？車が無いと生活できない？」</li> <li>・「ただただ平らで、魅力的な観光地が無い？」</li> <li>・「魅力的なおみやげって…納豆だけ？」</li> </ul> <p>3 単元を通しての学習問題を作り、学習の見通しをもつ。</p> <p>茨城県の魅力を紹介する「魅力度アップキャンペーン」のためのパンフレットを作ろう。</p> <p>4 本時の学習についての振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人の目的意識を高めるために、「魅力度47都道府県ランキング」について知っていることを話し合う。</li> <li>・インターネット上の情報を活用し、児童が「村や県の位置」、「主な都市の位置」、「交通網の様子」、「県全体の地形」、「主な産業の概要」の五つの社会的事象について調べる目的意識をもてるようにする。</li> <li>・自分たちの住む県の悪いところではなく、魅力としてよいところを調べていく意識をもたせるようにする。</li> <li>・グッドモデルを提示し、最終的に必要となる「まとめる」ための視点が捉えられるようにする。(第2時以降は移動式ホワイトボードに提示する。)</li> </ul> <p>◎自分たちの住む県の魅力的な部分について考え、学習問題や学習の見通しをもち、表現している。 (思考・判断・表現) (発表・ワークシート)</p>	
	調べる	2	<p>1 本時の学習問題を確認する。</p> <p>「水戸市？つくば市？そもそも茨城県ってどこ？」私たちの住む村や茨城県の位置を調べよう。</p> <p>2 自分たちが住む村や県の位置を表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「八方位」と「距離を表す目盛り」を読み取り、白地図にまとめる。</li> </ul> <p>3 気付いたことを話し合う。</p> <p>4 本時の学習のまとめの記述をする。</p> <p>私たちの住む東海村は、水戸市の北東、約15kmに位置している。茨城県は、日本列島のほぼ中心部の太平洋側にあり、東京の北東、約100kmに位置している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の目的意識を高める問題提示の仕方を工夫する。</li> <li>・本時の学習内容を確認させるため、「方位」、「距離を表す目盛り」、を活用した学習であることを明確にする。</li> <li>・「八方位」、「距離を表す目盛り」を使って読み取った情報を白地図に表す手順を板書し、「とらえる」視点を可視化する。</li> <li>・話し合う場面では、「とらえる」ための記述につながるように児童の発言を取り上げる。</li> </ul> <p>◎自分たちの住んでいる村や県の地理的位置について、八方位と距離を表す目盛りを読み取り、捉えることができる。 (技能) (ワークシート)</p>
		3	<p>1 本時の学習問題を確認する。</p> <p>「…茨城県に大きな市町村ってあるの？」茨城県の主な都市を調べよう。</p> <p>2 茨城県の主な市町村を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「棒グラフ」と「凡例」を読み取り、白地図にまとめる。</li> </ul> <p>3 気付いたことを話し合う。</p> <p>4 本時の学習のまとめの記述をする。</p> <p>茨城県には、東部や南部に主な都市がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の目的意識を高める問題提示の仕方を工夫する。</li> <li>・本時の学習内容を確認させるため、「棒グラフ」から情報を読み取り白地図にまとめる学習であることを明確にする。</li> <li>・「棒グラフ」、「凡例」を使って読み取った情報を白地図に表す手順を板書し、「とらえる」視点を可視化する。</li> <li>・話し合う場面では、「とらえる」ための記述につながるように児童の発言を取り上げる。</li> </ul> <p>◎自分たちの住んでいる県の主な市町村の位置について、棒グラフと凡例から読み取り、様子を記述することができる。 (技能) (ワークシート)</p>
		4	<p>1 本時の学習問題を確認する。</p> <p>「交通の便が悪すぎる！車が無いと生活できない？」茨城県の交通の便利さを調べよう。</p> <p>2 茨城県の交通網について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「高速道路」と「鉄道」の図を読み取り、白地図にまとめる。</li> </ul> <p>3 気付いたことを話し合う。</p> <p>4 本時の学習のまとめの記述をする。</p> <p>茨城県には、高速道路や鉄道、船や飛行機のルートなど、様々な交通網が発達している。東京につながる南北のルートや、港のある海側と内陸をつなぐ東西のルートも発達している。また、茨城空港は県の中央部にある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の目的意識を高める問題提示の仕方を工夫する。</li> <li>・本時の学習内容をしっかりと確認させるため、県の「交通網の様子」を捉える学習であることを明確にする。</li> <li>・「図」や「凡例」を使って読み取った情報を白地図に表す手順を板書し、「とらえる」視点を可視化する。</li> <li>・学習の進め方がうまく理解できていない児童に対して慌てなくてよいことを伝え、机間指導をしながら個別に言葉がけをする。</li> <li>・話し合う場面では、「とらえる」ための記述につながるように児童の発言を取り上げる。</li> </ul> <p>◎自分たちの住む県の交通網について、図と凡例を読み取り、様子を記述することができる。 (技能) (ワークシート)</p>
本時	5	<p>1 本時の学習問題を確認する。</p> <p>「ただただ平らで、魅力的な観光地が無い？」絶対あるはず！茨城県の観光名所を調べよう。</p> <p>2 茨城県全体の地形を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「等高線」と「断面図」を読み取り、白地図にまとめる。</li> <li>・「観光地の写真」を白地図に貼る。</li> </ul> <p>3 本時の学習のまとめの記述をする。</p> <p>茨城県は、北部に山地があり、中央部から南部にかけて平地が広がっている。主な川は、北部の山地や西側の栃木県の山地から流れてきている。中央部に筑波山があり、南部には霞ヶ浦、東側には太平洋が広がっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の目的意識を高める問題提示の仕方を工夫する。</li> <li>・本時の学習内容をしっかりと確認させるため、「県全体の地形」の様子を捉える学習であることを明確にする。</li> <li>・「等高線」、「断面図」を使って読み取った情報を白地図に表す手順を板書し、「とらえる」視点を可視化する。</li> <li>・うまく作業が進まない児童には、大型テレビの図を示しながら支援する。</li> <li>・話し合う場面では、「とらえる」ための記述につながるように児童の発言を取り上げる。</li> </ul> <p>◎自分たちの住む県の地形について、等高線と断面図、写真を読み取り、様子を記述することができる。 (技能) (ワークシート)</p>	
	6	<p>1 本時の学習問題を確認する。</p> <p>「茨城県の魅力的なおみやげって…納豆だけ？」他にもたくさんあるはず！茨城県の特産物を調べよう。</p> <p>2 自分なりの視点で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアセンター(コンピュータ室と図書室が隣接している場所)で調べ、ワークシートにまとめる。</li> </ul> <p>3 本時の学習のまとめの記述をする。</p> <p>茨城県には、海や山、広い水田や豊富な水などの豊かな自然を生かした産業が発達していて、日本を代表する特産物がたくさん生産されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習内容を確認し、児童一人一人が主体的に活動できるように、「茨城県の特産物」を調べる学習であることを明確にする。</li> <li>・インターネット上の情報や図書資料から、必要な情報を「集める」視点をワークシートに示すとともに、板書しておく。</li> <li>・効率よく調べられるよう、おすすめのホームページや図書資料を示すようにする。</li> <li>・うまく調べられない児童には、おすすめの情報を紹介する。</li> </ul> <p>◎インターネット上の情報や図書資料を活用して、自分の課題の解決に必要な資料を集めることができる。 (技能) (観察・ワークシート)</p>	
まとめる	7・8	<p>1 本時からの学習問題を確認する。</p> <p>私がアピールしたい「茨城県の魅力」はこれだ！茨城県の魅力度アップのためのパンフレットを作ろう！</p> <p>2 集めた資料を基にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2単位時間で作る。</li> <li>・一人1枚作る。</li> <li>・白方小学校のホームページにアップして発信する。</li> </ul> <p>3 それぞれの時間に、学習についての振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題を確認した後、この後の学習の流れを確認し、児童一人一人が主体的に活動できるようにする。</li> <li>・「グッドモデル」やこれまでの授業の中で出された「資料活用の視点」を提示する。</li> </ul> <p>◎7時間目：自分たちの住む県の様子から、その特色を考えようとしている。 (関心・意欲・態度) (観察・ワークシート)</p> <p>◎8時間目：これまで調べたことを、パンフレットにまとめることができる。 (技能) (パンフレット)</p>	

5 本時の指導

(1) 目標

茨城県全体の地形について、等高線と断面図、写真を読み取り、様子を記述することができる。  
(資料活用の技能)

(2) 準備・資料

ワークシート、掲示用拡大ワークシート、振り返りカード、大型デジタルテレビ

(3) 展開 (※形態：全=全体、グ=3～4人グループ、ペ=ペア、個=個人)

学習活動・内容	形態	指導上の留意点 (◎評価)
<p>1 本時の学習問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ただただ平らで、魅力的な観光地が無い？」絶対あるはず！茨城県の観光名所を調べよう。</p> </div> <p>2 等高線が示されている茨城県の白地図を使って、県全体の地形の様子を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例を基にして等高線ごとに色を塗り分ける。</li> <li>・土地の高低の様子を正しく表している断面図を選ぶ。</li> <li>・全体で話し合い、確かめる。</li> </ul> <p>3 茨城県の観光地の写真を、等高線が示されている白地図に貼り付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで取り組む。</li> <li>・全体で話し合う。</li> </ul> <p>4 茨城県の観光地について気付いたことを話し合い、土地の様子を記述する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>茨城県は、北部に山地があり、中央部から南部にかけて平地が広がっている。主な川は、北部の山地や西側の栃木県の山地から流れてきている。中央部に筑波山があり、南部には霞ヶ浦、東部には太平洋が広がっている。</p> </div> <p>5 本時の学習について振り返る。</p>	<p>全</p> <p>個 ↓ グ ↓ 全</p> <p>グ ↓ 全</p> <p>ペ ↓ 全</p> <p>個</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習してきた内容を振り返ると共に、児童の目的意識を高めるように学習問題を提示する。</li> <li>・本時の活動のねらいと学習の流れを明確にし、一人一人が主体的に活動できるように学習問題を確認する。</li> <li>・等高線と断面図から土地の高低の様子を捉える視点を、児童の発言を基にして可視化する。</li> <li>・等高線をうまく読み取れない児童に対しては、凡例に着目させると共に大型デジタルテレビを活用して具体的にやり方を示すことで、視点に気付くよう支援する。</li> <li>・グループの中で、断面図を選んだ理由を明確にするよう声かけをする。</li> <li>・うまく進まないグループには、写真に示されている土地の様子に着目するよう声かけをする。</li> <li>・白地図から土地の高低の様子を捉えることができるように、板書しておいた視点を記述の際に参考にするよう言葉かけをする。</li> </ul> <p>◎茨城県全体の地形について、等高線と断面図、写真を読み取り、様子を記述することができる。 (資料活用の技能)(観察・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時に学習内容について振り返り、技能の習得についての意識がもてるようにする。</li> </ul>